

家庭教育学級活動報告

園・学校名	羽島市立小熊小学校
活動名 (テーマ)	「親子で学ぶ心と体の成長」(講演会)
活動内容	<p>家庭教育委員会の活動として、助産師の方から性教育(命の尊さ・心と体の成長)を親子で学べる機会として、講演会を企画し開催した。</p> <p>低学年(1, 2, 3年)と高学年(4, 5, 6年)に分けて、児童の発達段階に合わせて異なる内容で講演をしていただいた。低学年では、助産師としての豊富な経験から、実際の赤ちゃんが誕生するまでの様子を、児童が様々な体験をしながら学んだり、命の神秘や大切さを感じ取ったりすることができた。高学年では、『境界線』という言葉について説明していただき、「自分を大切にすると周りの人も大切にできる」「自分の心と体は自分だけのもの たった一つの宝」という強いメッセージを児童に伝えられた。</p> <p>命・心と体の大切さを親子で学べる大変よい機会となった。</p>
活動の様子	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p><1, 2, 3年生と保護者対象> 『助産師からきく 赤ちゃんの話』</p> <ul style="list-style-type: none"> ①命の誕生の話：受精卵の大きさを、針で鱗を開けた色紙を児童一人ずつに持たせて見ることで、命の始まりの大きさを実感。 ②赤ちゃん人形と児童とで、大きさの違いを実感。 ③子宮袋に児童一人に入ってもらい、どのように誕生してくるかを実感。 ④実際の児童の心音を聞くことで、お母さんのお腹の中でも、心臓が動いていることを実感。 <ul style="list-style-type: none"> ○体は自分のものであり、「プライベートパーツ」は、他の人(たとえ親であつても)に見せたり触らせたりしてはいけない大切な部分。 ○みんなは、周りの人から愛情をもらっているし、与えている。 <p><4, 5, 6年生と保護者対象> 『自分を大切にすると周りの人も大切にできる』</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「プライベートパーツ」について ○「境界線」を中心とした内容 <p>あなたが「いいよ」と思うことと「嫌だ」と思うことの間を分ける目には見えないライン。みんな、自分の境界線を持っている。境界線が無視されたら、「いや」と思ってもいい。「いや」と言ってよい。何かをする時は同意を得ることが大切。「迷う」ということは、NOである。</p> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;">   </div>